

コード No. 28015

**Anti-Human
Rheb (R165) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : Rheb (ras homolog enriched in brain) は約 20 kDa のタンパク質で、ラット海馬に発現する Ras のホモログとして同定されましたが、実際には各種細胞を通じて広範に存在しています。また、他の低分子量 GTP 結合タンパク質とは異なり、GTP 結合型が優位であると報告されています。Rheb の GAP は結節性硬化症 (tuberous sclerosis) 遺伝子産物の TSC2 であることが明らかになっている一方、GEF としては TCTP (translationally controlled tumour protein) が候補分子として報告されています。また Rheb の過剰発現はアミノ酸飢餓による mTOR 機能の不活性化を抑えることが知られており、mTOR シグナル伝達系を活性化させる分子として働くことが明らかになっています。

免疫抗原 : Human Rheb の C 末部分合成ペプチド (LEAEKMDGAASQGKSS)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : ウェスタンブロッティング 0.5~5 µg/mL にて使用可能

使用方法

: 免疫沈降法 1~5 µg/mL にて使用可能